



企業や大学と新しいまちづくりに挑戦する「宗像市産官学共感プラットフォーム」。本プラットフォームは行政だけで解決が困難な複雑多様化する地域課題に対し、「共感」を軸に多様なステークホルダーが集まり、まちづくりや地域課題の解決を図る実証実験や事業化を推進する画期的な取り組みです。

8月28日(木)に23者41人が参加するフィールドワークをおこないます。参加者は、日の里地区や大島地区など4つのフィールドを巡り、市民や企業の声を直接聞きながら、宗像市の現状やそれぞれの事業アイデアの深掘りをおこないます。

宗像市では、フィールドワークなどを活用し、様々なステークホルダーと対話を重ね、まちの将来像を描いていきます。

#### 【宗像市産官学共感プラットフォーム】フィールドワーク 概要】

1. 日 時: 8月28日(木)11:30~17:30

※フィールドワーク(大島)は9:25 神湊発

2. 集合場所: fabbit 宗像 (宗像市栄町2-12 2階)

3. 参加者: 41人(企業28人、市職員13人)

4. 内容

(1)チームアップのワークショップ

(2)フィールドワークのテーマ

- ・地域コミュニティ(日の里地区) 9人参加  
コミュニティ運営協議会やひのさと48の見学と意見交換
- ・離島での観光振興(大島地区) 9人参加  
観光拠点の見学や地域事業者と意見交換
- ・食とブルーカーボン(玄海地区) 12人参加  
道の駅おなかたなどの見学や地域事業者と意見交換
- ・スポーツと健康(グローバルアリーナ、宗像ユリックス) 11人参加  
施設見学と事業者と意見交換

(3)振り返りワークショップ

<フィールドワークの様子>



#### 【問い合わせ先】

宗像市 秘書政策課 担当:一番ヶ瀬 TEL:0940-36-1055